

NEWS RELEASE

報道関係各位

2026年5月13日

＜サイバー攻撃・災害・障害に備える＞
「止まらない医療」を支えるITインフラとセキュリティを紹介
－第30回 日本医療情報学会春季学術大会に出展－

アライドテレシス株式会社（本社 東京都品川区、代表取締役社長 サチエ オオシマ）は、2026年6月11日（木）から13日（土）に開催される「第30回日本医療情報学会春季学術大会」に出展します。



第30回
日本医療情報学会春季学術大会
シンポジウム2026宇都宮

会期

2026年6月11日(木)～13日(土)

会場

ライトキューブ宇都宮

クラウドやAI活用が進む中、医療現場では、ITインフラに求められる可用性・信頼性がこれまで以上に高まっています。

一方で、サイバー攻撃の高度化や自然災害、システム障害への備えに加え、限られた人員による運用体制など、医療機関を取り巻くIT運用上の課題は複雑化しています。特に、ネットワークやセキュリティ運用の属人化、機器の老朽化や通信の不安定さ、障害・インシデント発生時における迅速な状況把握や初動対応の難しさなど、「医療を止めない」ためのITインフラ整備と運用に課題を抱えるケースが少なくありません。

こうした背景を踏まえ、本大会において当社は、「止まらない医療を支える、ITインフラとセキュリティ」をテーマに、医療現場の実情に即したネットワーク運用管理、IT-BCPを見据えたレジリエントなインフラ設計、そしてNDR（Network Detection and Response）を中心とした次世代セキュリティ対策をご紹介します。

展示ブースでは、ネットワーク全体の可視化・一元管理による運用負荷の軽減や、障害発生時の迅速な復旧を支援するソリューション、院内ネットワーク全体を対象としたセキュリティ対策について、実際の医療機関での導入事例を交えながらご紹介します。

また、スイーツセミナー／アフタヌーンセミナーでは、医療機関におけるIT-BCPの取り組みや、NDRの導入・運用に関する実践的な知見を、現場の視点からご紹介します。さらに、6月11日（木）開催のチュートリアルセミナーにも登壇し、医療機関における電波管理の重要性や具体的な取り組みについて解説します。

【開催概要】

大会名：第30回日本医療情報学会春季学術大会（シンポジウム2026宇都宮）

会期：2026年6月11日（木）～13日（土）

会場：ライトキューブ宇都宮 + Web開催

テーマ：「医療情報学の新たな道程～革新と共創の時代へ～」

大会長：今井 健 氏（東京大学大学院医学系研究科 疾患生命工学センター）

プログラム委員長：河添 悦昌 氏（東京大学大学院医学系研究科 医療情報学分野

医学部附属病院 企画情報運営部）

実行委員長：荻島 創一 氏（東北大学 高等研究機構

未来型医療創成センター／東北大学メディカル・バンク機構）

大会事務局：東北大学東北メディカル・メガバンク機構ゲノム医科学情報学分野内
運営事務局：株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コンベンション第二事業局
詳細：<https://jami2026symp.org/>

■出展内容

<機器の老朽化・通信の不安定さの解消>

- 無線LAN製品ラインナップ・10G/マルチギガ対応製品紹介
- 最適な院内Wi-Fi環境の構築 (AWC)

<運用の属人化・管理者不足に対応する自動化・運用支援>

- ネットワーク運用の可視化・クラウド管理による運用負荷軽減
(Vista Managerシリーズ、Allied OneConnect)
- IT-BCPを見据えたネットワークの一元管理・自動復旧 (AMF PLUS)
- 管理者不足を支援するネットワーク監視 (Net.Monitor)

<セキュリティ対策>

- ネットワーク全体の可視化・異常検知と自律型制御 (NDR、AMF-SEC)
- 専門アナリストによるセキュリティログ監視・分析 (マネージドセキュリティサービス)

■共催セミナー

<スイーツセミナー1 (SS-1) >

日時	6月12日(金) 15:20~16:10
会場	第2会場(2階・大会議室201)

演題1

「IT インフラをBCPの『支え』として：
万全なき有事に備え、情シスが今できる一步一步の積み重ね
～駆け出しの災害拠点病院としての試行錯誤～」
地方独立行政法人 新小山市市民病院 システム管理室 係長 吉野 絢祐 氏

<講演概要>

栃木県小山市の災害拠点病院として、当院は「止まらない・守れる」IT インフラの刷新に取り組んだ。
しかし、どれほどインフラを整えてもサイバー攻撃や自然災害への対策に「万全」はなく、組織的なBCP(事業継続計画)の実行力や訓練の習熟度には依然として課題を抱えている。
本講演では、構築したIT インフラを単なる設備に留めず、いかに実効性のあるBCPの「支え」へとつなげていくか、その具体的な試行錯誤を紹介する。具体的には、有事の混乱期に情シスが迷わず冷静に初動対応にあたるための手順の整備など、現場の実行力を高めるために一歩ずつ着実に進めている取り組みについて述べる。完璧な対策が存在しないからこそ、インフラという土台の上に実務的な運用を積み上げていく、駆け出し病院の取り組みを報告する。理想を追いながらも、まずは足元の地道な一歩を積み上げていく私たちの歩みが、同様の課題を持つ施設の参考になれば幸いである。

演題2

「“止まらない医療”の実現への備え-障害・インシデントを想定したITインフラの再整理-」
アライドテレシス株式会社 ソリューションエンジニアリング本部
東京プロジェクトマネジメント 第1プロジェクトマネジメントグループ 課長 川野 謙

<講演概要>

医療機関を取り巻くリスクは、サイバー攻撃、自然災害だけでなく機器障害、通信断などさまざまです。こうした事象が発生した際にも医療サービスを継続するためには、ITインフラやネットワークを含めた平時からの備えが不可欠です。
本講演では、IT-BCPの観点から医療機関に求められるITインフラ設計の考え方を整理し、サイバーインシデント、災害、障害といった有事に共通して重要となる「業務を止めない」「状況を把握する」ためのポイントを解説します。あわせて、復旧を見据えた構成の考え方、運用面での備えについて紹介し、今改めて考えておきたいITインフラ構築の要点をお伝えします。

<アフタヌーンセミナー1 (AS-1) >

日時	6月12日(金) 16:35~17:25
会場	第2会場(2階・大会議室201)
演題1 「医療機関におけるNDR導入の実際 —製品選定から実運用まで—」 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 本部 医療情報システム部 課長 小日向 隆行 氏	
<講演概要> 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院において、セキュリティ強化の一環としNDR(Network Detection and Response)を導入し、その後現在に至るまで約2年間運用してきました。 医療機関のネットワークには、PCのみならず医療機器やリモート保守VPN装置など様々な機器が接続されており、従来の境界型防御では十分ではないという課題がありました。当院では受動的なトラフィック監視とAIによる異常検知を特徴とするNDRを導入することで、ネットワーク全体の可視化を実現し、管理者権限の不審な使用や疑わしい通信をリアルタイムで把握できるようになりました。 本講演では、選定理由や導入時のポイント、運用を通じて得られた効果や知見について、医療現場の実情を踏まえてお話しいたします。	
演題2 「医療機関に求められる次世代NDRとは —Darktraceのアプローチ」 ダークトレース・ジャパン株式会社 Enterprise Account Executive 浅田 敬太郎 氏	
<講演概要> 本講演では、医療機関を取り巻くサイバー脅威の現状を踏まえ、NDR(Network Detection and Response)ソリューション「Darktrace」が提供する価値と特長についてご紹介します。 院内ネットワークには電子カルテや医療機器など多種多様な資産が接続されており、エージェント導入が困難な環境も少なくありません。Darktraceは、受動的なトラフィック監視とAIによる振る舞い分析により、ネットワーク全体を可視化し、既知・未知を問わず異常な通信をリアルタイムに検知します。さらに、状況に応じた自律的な通信抑制により、被害拡大を防ぐ仕組みを提供します。 本講演では、医療現場に適したNDRの考え方と、相澤病院の事例とも通じるDarktraceの設計思想や導入効果について解説します。	
演題3 「医療現場を止めないためのネットワークセキュリティ - 運用負担を抑えつつ感染拡大を防ぐ“自律型”ソリューション-」 アライドテレシス株式会社 マーケティング本部 プロダクトマネジメント部 プロダクトプランニンググループ アシスタントマネージャー 岩垣 俊伸	
<講演概要> 近年、医療機関を狙ったサイバー攻撃は高度化・巧妙化しており、ひとたび侵入を許すと院内ネットワーク全体に被害が拡大するリスクが高まっています。 一方で、すべてを人手で監視・対応する運用には限界があり、IT人材や管理者を置けないことの多い医療現場では現実的ではありません。 本講演では、ネットワークセキュリティにおいて「侵入を前提」とした考え方を軸に、NDRと連携した対策についてご説明します。異常を検知した端末をネットワーク側で自動的に制御・隔離する仕組みにより、医療現場の負担を抑えながら被害拡大を防ぐアプローチをご紹介します。	

<チュートリアルセミナー6>

日時	2026年6月11日(木) 16:00~18:00
会場	第3会場(2階・大会議室202)
テーマ 「医療機関における安心・安全な電波利用に向けた管理」 アライドテレシス株式会社 マーケティング本部 プロダクトマネジメント部 部長 山中 章寛	

詳細は当社ホームページをご覧ください。
<https://www.allied-telesis.co.jp/event/exhibit/jamisc30/>

注) 展示内容およびセミナー構成・内容は、都合により変更される場合がございます。予めご了承ください。

注) 記載されている商品またはサービスの名称等はアライドテレスホールディングス株式会社、アライドテレス株式会社 およびグループ各社、ならびに第三者や各社の商標または登録商標です。なお、本文に記載のある「Allied OneConnect」は現在、商標登録出願中の名称となります。

《ニュースリリースに対するお問い合わせ先》
アライドテレス株式会社 マーケティングコミュニケーション部
TEL: 03-5437-6042 E-Mail: pr_mktg@allied-telesis.co.jp
アライドテレス株式会社 〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-21-11 第2 TOC ビル
<https://www.allied-telesis.co.jp/>